

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 7 月 3 1 日

議 会 議 長 様

議席番号 9 番

議員氏名 野 口 俊 彦

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 窪田町長 2 期目の具体的な公約と推進体制は	窪田町長は、1 期 4 年において真正面から取り組んでこられた「医療体制の充実」をはじめ、杉戸農業高校との包括連携協定やアグリパークゆめすぎとのリニューアルといった「農業振興」、さらには学校給食費の負担軽減などの「教育・子育て支援」に至るまで、一步ずつ着実に町政を舵取りしてこられた成果が、多くの町民の皆様の理解と信頼に繋がったものと推察しています。 そこで、窪田町長 2 期目のスタートである記念すべき令和 8 年 9 月定例会にあたり、追跡シリーズとして、以下の点について伺います。 (1) 窪田町長は 2 期目の公約として「この町を動かす責任がある」と誰もが心に響く力強いテーマを掲げ、4 つの政策として「1 安心感」「2 快適さ」「3 活力」「4 満足度」の各アップを示されました。では、まちづくりを町民と共に全力で推進するため、それぞれ具体的にどのような施策・事業を展開していくのか。詳細にお答えください。 また、肝心の 1 期目の公約である「下野久喜線の早期実現」及び「中核病院を誘致」については、2 期目ではどのように進めていくのか。選挙期間中の街頭演説では抽象的な説明であり、議員を含めて多くの町民の皆様が期待している大切な事業（約束）であるため、こちらも詳細にお答えください。	町長 副町長 教育長 担当課長

7 月 3 1 日 午前 8 時 3 0 分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
	(2) 1期目で「今すぐやるべき9つの課題」として掲げていた、「県内トップクラスの学力」及び「企業立地戦略室の創設」について、今回の2期目の公約の枠組みの中ではどのように整理され、今後どのように取り組まれていくのか、お答えください。 (3) 令和8年6月定例会における栗原前議員の一般質問の中で、「1期4年間の公約に関して何も進展がない中で、何をどのように動かすのか」との質問に対して、窪田町長は「2期目では意思決定の迅速化と町内連携の強化を徹底し、停滞を生まない体制づくりに取り組む」と答弁されました。 では、「停滞を生まない体制づくり」とは、具体的に役場組織の改革や配置の見直しなどを実行する予定なのか。見直しをする予定であるならば、現時点で答えられる範囲でお答えください。	